

平成30年度の主な事業と決算額

まちの魅力向上

デマンドタクシー運行事業 2,057万円

「公共交通空白地域の解消」と「高齢者等の外出の支援」を目的とし、平成30年4月からデマンドタクシーの本格運行を開始しました。

小川町元気な農業応援事業 850万円

小川町の地理的環境、自然環境に適した「おがわ型農業」の可視化と「おがわ野菜」の普及を推進していく事業です。環境保全型農業の拡大支援、「おがわ野菜」のブランド事業等を実施しました。

仙元山さくらの山づくり事業 66万円

小川町の次世代を担う子ども達が、仙元山見晴らしの丘公園に桜等の花木を植樹することにより、町への愛着を深めると共に、町の魅力向上を図る事業です。

安全・安心の推進

橋りょう耐震補強・補修事業 2億3,974万円

池田歩道橋・68号橋などの補修設計、小川中央陸橋歩道橋部・鷺巣橋・日の出橋などの補修工事、小川中央陸橋の耐震補強工事を実施しました。また、法令に基づき鉄道を跨ぐ橋りょうの定期点検を実施しました。

町民会館耐震・複合化改修事業 9,069万円

建築後50年以上経過し老朽化対策等の改修が必要な中央公民館施設を廃止し、機能を町民会館に移転しました。今後もリリックおがわを複合施設として使い続けるため、施設の長寿化対策の改修工事及び未実施の耐震工事を行いました。

●会計別歳入歳出決算額

会計区分		歳入	歳出
一	一般会計	89億2,656万円	86億9,526万円
特	特別会計	77億821万円	74億5,749万円
	国民健康保険	35億8,067万円	35億483万円
	後期高齢者医療	3億8,370万円	3億7,668万円
	介護保険	27億5,433万円	26億3,359万円
	下水道事業	9億106万円	8億5,882万円
	農業集落排水事業	8,845万円	8,357万円

会計区分（企業会計）		歳入	歳出
水道事業	収益的収支	6億6,614万円	5億9,575万円
	資本的収支	727万円	2億1,242万円

財政健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に基づく、平成30年度決算についての本町の健全化判断比率及び資金不足比率は以下のとおりです。いずれも早期健全化判断基準、財政再生基準及び経営健全化基準を下回る結果となり、財政状況は前年度に引き続き健全段階であるという結果となっています。

1. 健全化判断比率 (単位：%)

指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小川町	—	—	6.3	44.0
早期健全化基準	14.28	19.28	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準なし

*実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、黒字のため「—」と記載。

子ども・子育て施策の充実

子育て総合センター事業 1,906万円

ココット（小川町子育て総合センター）は、妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援体制の充実を図るとともに、子育て支援の拠点施設として平成30年4月にオープンしました。子育ての相談や交流スペースのほか、毎月様々な講座を開催しています。

放課後子供教室事業 693万円

小学生に安全で安心な放課後の居場所を設け、様々な学びと体験活動の機会を提供する事業です。2教室目を小川小学校に開設しました。

まちづくり寄附金による事業

まちづくり寄附金活用事業 155万円

寄附していただいたお金を以下の事業に活用しました。

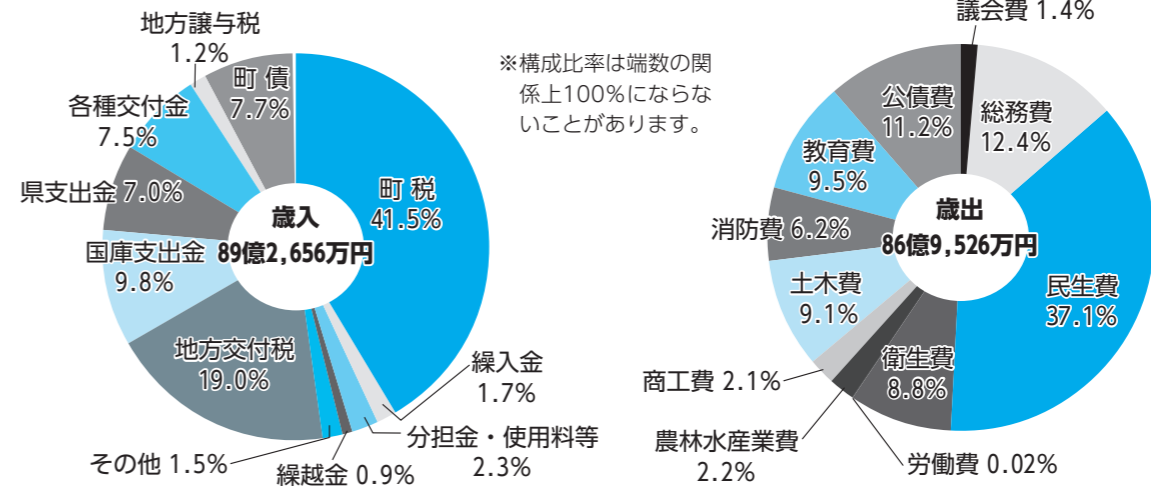
- 乳幼児向け玩具等の購入（ココット）
- 絵本を中心とした児童書等や授業の並行読書のための読物を購入（図書館）
- エアコンの整備（町立保育園）
- 当町の魅力を広く発信するための「おがわまち おたのしみマップ」、「小川町 お食事マップ」の作成

都市計画事業

都市計画事業 1億8,417万円

都市計画法及び都市公園法に基づき実施する事業です。このうち下水道事業への繰出金や現在建設中の環状1号線に係る県施工街路事業負担金に皆さんから納めていただいた都市計画税1億3,346万円を充てています。

一般会計

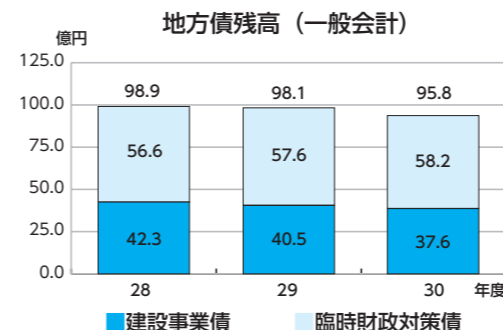


歳入 89億2,656万円

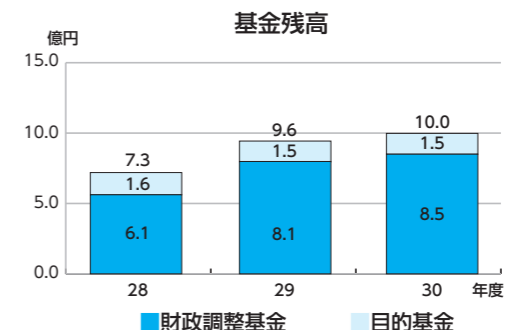
自主財源	項目	内容	金額
自主財源	町税	皆さんが納めた税金	37億381万円
	繰入金	基金（預金）を取り崩したお金など	1億4,997万円
	分担金・使用料等	保育料、施設の使用料、証明書発行の手数料、受益者が負担したお金など	2億323万円
	繰越金	前年度から繰り越したお金	7,906万円
依存財源	その他	雑入や寄附金、町の土地を貸したり売ったりしたお金など	1億3,378万円
	地方交付税	所得税などの国税の中から地方の財政運営のために配られたお金	16億9,577万円
依存財源	国庫支出金	町の事業に対し、国から交付されたお金	8億7,478万円
	県支出金	町の事業に対し、県から交付されたお金	6億2,748万円
	各種交付金	地方消費税や自動車取得税の一部として県から交付されたお金など	6億6,631万円
	地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金	1億793万円
依存財源	町債	国や金融機関などから借り入れたお金	6億8,444万円

歳出 86億9,526万円

項目	内容	金額
議会費	議会や議員の委員会などの運営に使ったお金	1億1,814万円
総務費	住民記録、課税徴収、自治振興などに使ったお金	10億7,856万円
民生費	高齢者、障害者、児童などの福祉のために使ったお金	32億2,546万円
衛生費	ごみ処理、保健衛生などに使ったお金	7億6,916万円
労働費	労働関係に使ったお金	159万円
農林水産業費	農業関係や林業関係に使ったお金	1億9,354万円
商工費	観光施設の管理や商工振興のために使ったお金	1億8,283万円
土木費	道路や河川の整備、公園の管理などに使ったお金	7億8,888万円
消防費	防災や消防・救急活動のために使ったお金	5億3,775万円
教育費	小・中学校、生涯学習振興などに使ったお金	8億2,438万円
公債費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用	9億7,497万円



※臨時財政対策債…地方交付税として地方に配るお金が確保できないため、その足りない分を、町が借金（臨時財政対策債）でまかなっています。なお、臨時財政対策債の返済額については、後年度に地方交付税として措置されます。



※財政調整基金…経済事情の変動で税収が不足する場合や、災害や大規模事業などでたくさんのお金が必要となった場合など、やむを得ない事情があったときに財政調整基金を取り崩して活用しています。

平成30年度

決算報告

平成三十年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、町議会9月定例会で認定されました。平成三十年度中に皆さんから納めていただいた税金や国・県からの補助金等の収入が、どのように使われたのか、また財政の健全性に関する指標である健全化判断比率の数値はどのようだったか、そして町の保有する資産や負債の状況についてお知らせします。

問合せ 政策推進課 財政担当 ☎ 2222